

# 手芸作品展示会

2024年3月1日(金)～30日(土)

八幡平市の手芸サークル「まゆみの会」や市民有志が手作りした手芸作品約300点。毎年恒例の人気展示です。農家の女性たちが農閑期に集まってコツコツとつくりためた心あたたまる作品。ぜひご覧ください。

入場無料



## 岩手県森林公園

# 県民の森だより

2024.  
3

Vol.218

発行 岩手県民の森  
(公益社団法人  
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】

佐々木美枝子・立柳洋子・高橋ハツ

## 手芸作品展

入場無料

2024年4月1日(月)～28日(日)

アメリカンフラワーやパッチワーク、トールペイントの世界に魅了されて、作品をつくり続けて数十年。岩手の美しい自然に育まれた感性が光る作品の数々をお楽しみください。

佐々木美枝子  
まゆみの会代表



立柳洋子  
まゆみの会所属

高橋ハツ  
手芸サークル(パッチワーク)主宰

早春のイベント ご予約・お問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

### 早春の七滝・巨木 スノーシューツアー

【定員】15名  
【参加費】2,500円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

2024年3月10日(日)

8:30～15:00

春が近づいてくると、積もっていた雪が締まって堅くなります。七滝を堪能したあと、すこし足を伸ばして、無雪期は笹藪で近づくことが困難な場所のブナやミズナラの巨木や大木に会いに行きます。



『森の大橋』上流側 2023/3/8

【プライベートガイドも承ります】 プライベートでゆっくりと、岩手山麓の自然を心ゆくまで満喫できます。

イベント以外の日、1週間前までの予約制。ご家族やグループの利用など、人数が揃えばお得です。団体様もお問い合わせください。スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)。キャンセルされる場合は1週間前を過ぎるとキャンセル料が発生します。

- 県民の森スノーシュー散策 約90分 7,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)
- 七滝氷瀑スノーシューツアー 約3～4時間 10,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)
- 七滝氷瀑・巨木スノーシューツアー 約4～5時間 15,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

### 【県民の森だより 年間購読のご案内】

本紙『県民の森だより』は、森林ふれあい学習館や八幡平市、盛岡市等の公民館などで配布しております。ホームページからダウンロードも出来ます。また、定期購読ご希望の方はご自宅まで郵送いたします。住所、氏名、電話番号をご明記の上、84円切手12枚を下記宛へお送りください。

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5 岩手県民の森『県民の森だより』係 宛

3月に入ると気温が上がり、雪景色のなかに春の匂いがしてきます。雪が降ったり、雨が降ったり、、、と冬と春を行ったり来たりするうちに、春一番に咲く花々の蕾がほころびはじめます。冬のあいだは変化の少なかった森の中も、次々と芽吹きが始まり、そうしてどっと春が押し寄せてくるのです。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ  
TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778  
開館時間：9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)  
@forest\_iwate





## 冬芽が割れる季節。

木々の枝先には、春に芽吹く新芽が入っている冬芽がついています。様々な形態で、寒い冬から新芽を守っています。春が近づくと、冬芽が膨らみはじめます。ある日、とうとう芽が割れて、なかから葉っぱの赤ちゃんや、花が出てくる喜び。そして次々に芽が割れて、一気に春が訪れます。



【バッコヤナギの花芽が割れる】2023/3/17

別名、ヤマネコヤナギ。なかから出てくるふわふわの花は愛らしく、県民の森に春を告げる風物詩です。



【ハルニレの花芽が割れる】2023/4/3

丸く膨らんだ花芽が割れると、中からシックな花が出てきます。目立たずにひっそりと咲いていますが、鳥たちには人気です。



【シデコブシ花芽が割れる】2023/4/1

ふかふかの毛皮を纏った花芽が割れて、純白の蕾が顔を出します。



【アブラチャンの花芽が膨らむ】2023/3/27

丸いのが花芽、真ん中が葉芽。葉芽より花芽が先に割れて小さな黄色い花を咲かせます。



【アジサイの冬芽が割れる】2023/3/29

冬芽の皮が破れて中から新葉が顔を出しています。下部の顔のような跡は昨年葉っぱが落ちた痕です。



【ミヤマガズミの冬芽が割れる】2023/3/29

毛が生えている冬芽から、毛が生えている新葉が顔を出しています。



【オオヤマザクラの冬芽が割れる】2023/3/31

すこしずつ新芽が出てきて、県民の森では5月の連休頃に花を咲かせます。



【オニグルミの冬芽】2023/3/25

羊の顔のように見える葉っぱが落ちた痕が大人気の冬芽。芽吹きは5月頃です。



【冬芽】2023/3/23

厳冬期は堅く閉じていた枝先の冬芽。春になるとだんだん開いてきてバラの花のように見えます。



【キクイタダキ】2023/3/16

日本で見られる鳥のなかで一番小さな鳥で、体重は5gほど。ドイツウヒにいることが多いです。



【松ぼっくりのエビフライ】2023/3/17

雪が融けると、秋にリスたちが種を食べた松ぼっくりの芯が出てきます。大きくてエビフライのようです。

## 残雪の風景

3月になると気温が高くなり、最低気温が零下にならない日も出てきます。あんなに沢山あった雪はどこへ行ったのだらうと思うほど、急激に融雪が進む日もあります。優しい春の陽に照らされて、すこしずつ顔を出した地面から、ふんわりと懐かしい土の香りがしてきます。春の匂いです。



【みんなの広場】2023/3/15 雪が融けてベンチが出てきました。

【右上】七滝までの登山道は冬に七滝氷瀑に会いに多くの人が訪れます。踏み固められた登山道だけが白い道となって残るのもこの時期です。

【右下】七滝までの林道コースは陽当たりがよく、真っ先に雪が融けて一筋の黒い道となります。登山道とは対照的です。



【みんなの広場側溝】2023/3/19 側溝のある場所は踏み抜きにご注意ください。



【七滝登山道】2023/3/27



【七滝 林道コース】2023/3/27

## 県民の森の植物 72 タラノキ (ウコギ科 タラノキ属)

「山菜の王様」として人気が高いタラノキ。春に芽吹く新芽が「タラの芽」として食されています。地方によって様々な呼び名があり、このあたりでは「タラボ」と呼ばれています。

幹は鋭い棘に覆われていて、刺さるととても痛いです。加えて成長した葉の付け根にも鋭い棘があり、凶器のようです。しかし棘は、若いうちはフニャフニャしていて柔らかく、タラノキに痛い目に遭わされた人は、その手触りにビックリします。葉っぱは、奇数二回羽状複葉。小葉は5～10cmほどの卵型ですが、全体の長さは50cm以上あり、これが1枚の葉っぱなのかと驚嘆します。秋には赤や橙色に美しく色付きます。

花は夏、幹の先端に50cmほどの長い花序が出来て、薄緑色の小さな花を多数咲かせます。そのあとに球形の小さな果実が出来、熟すと黒紫色になります。人間の食用にはならないですが、ツグミなど鳥たちのご馳走になります。枝先に実を付けた様子は線香花火のような美しいシルエットです。

冬芽は棘がありますがユーモラスで、森の中でとても目立ちます。痛い目にあうことが多いのに、出会うとつい声をかけてしまうタラノキ。園内ではAコースや七滝登山道で見られます。



【若い刺】6/10



【冬芽】3/19



【新芽】4/27



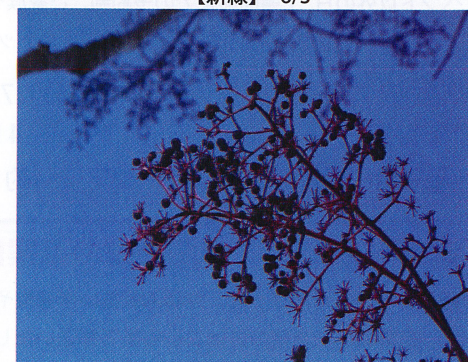
【新緑】6/3



【花】8/17



【紅葉】10/1 (これで1枚の葉っぱです)



【実】10/26